

春先の感染性胃腸炎にご注意を

下痢・嘔吐を起こす冬季のノロウイルスが有名ですが、それ以外にも、サポウイルスなどもあります。また、この時期になると増えてくるロタウイルスもあります。今回はこれらについて、ご紹介します。



ノロウイルス

例年11月から増加してくる感染性胃腸炎は、多くがノロウイルスによるものです。インフルエンザがはやってくると、一旦患者数は減少しますが、インフルエンザが治まると、ふたたび増加する傾向があります。ノロウイルスは変化しやすく、大きく変化したときには、大流行を起こすようです。ワクチンはありません。

サポウイルス

ノロウイルスと似た症状を起こすウイルスで、ノロウイルスとは親戚のような関係です。大流行を起こすわけではありませんが、保育園・小学校や老人福祉施設での集団感染性胃腸炎や食中毒の原因になることがあります。なお、名称の「サポ」は、最初に発見された北海道の札幌（さっぽろ）に由来しています。ノロウイルスと同じくワクチンはありません。



ロタウイルス

ロタウイルスは主に乳幼児が感染する胃腸炎の代表的なもので、便の色がクリーム色のように薄くなる事があります。初めてかかったときがいちばん症状が重く、水のような下痢、嘔吐等の症状が続きます。

平成23年からワクチン接種が始まりました。初回は生後2ヶ月くらいから3ヶ月半くらいまでに接種（飲むワクチン）します。あとは4週間の間隔で合計2～3回接種します。ワクチン接種することで、入院に至るような重症化を防ぐことから、接種する方も増えてきています。ワクチンに関しては、医療機関にご相談ください。

~どのウイルスも~

- ✓ 抗ウイルス薬はありません。対処療法（脱水予防）等になります。
- ✓ 患者の便や嘔吐物には、多量のウイルスが排泄されています。また、治った後もしばらくは、便中のウイルスは多いままで。トイレから出るときはしっかりと手を洗うようにします。
- ✓ 排泄物を処理するときは、手袋・マスクをして、乾燥しないように（飛び散らないように）取り扱います。
- ✓ 汚れた手で触った場所が汚染され、それを別の人が触ることで、感染が広がります。こまめな手洗いは重要です。
- ✓ 消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）を薄めて使います。使用用途・製品により濃度が違いますので、正しく計りましょう。（↓2ページ目の中段を参考に）

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/dl/140304-s.pdf>